

下校する児童を見守る上保さん(右)と吉田自治会長(左)
—砺波市の神島交差点



安全・安心

先月21日、砺波市三島町の砺波平安閣で同市防犯パトロール隊連絡協議会長の吉田一衛さんの富山風雪賞受賞を祝う会が開かれた。砺波市内の防犯活動は2005(平成17)年に吉田さんが出町防犯組合の初代組合長に就任して活発になった。吉田さんの地元である神島は、出町地区の1町内だが、出町防犯組

防犯活動の先頭に

合発足前から車による地域巡回パトロールや児童の登下校の見守りなどを行っていた。

06年には、神島防犯会をつくって活動を強化した。出町地区30町内会で第一号の自主防災会を結成したのもこの年である。現在は両会とも自治会に組み込まれ、安全安心への熱い思いは住民に引き継

昼夜、子どもらを見守る

がれている。

夜間安全パトロールは毎月2回、5人ずつで巡回する。11月23日午後8時、神島ふれあいセンター前に小名木秀和さん、池田信一さん、杉山吉博さん、谷井武仁さん、吉田太郎自治会長が集まり、そ



夜間パトロールに出発する住民ら「砺波市の神島ふれあいセンター前

と2人で交差点に立った前神島ふれあいセンター館長の上保勇さんは「立ち番をするようになってから不審者

ろいのジャンパーを着て車に乗り込んだ。北部っ子見守り隊は「思い出の会」や女性グループら合わせて65人が2人ずつ担当を決めて、町内でもっとも交通量が多い県道交差点に毎日立ち、下校の児童を守る。吉田会長

情報もなくなったと、元気にあいさつする児童に目を細めた。

わがまち
まがまち
まがまち
まがまち